

# 野洲市の子ども・子育て支援に関する アンケート調査 ご協力をお願い

日頃より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

野洲市では、2024年度に、市の子育て支援の方向性を定める「第3期子ども・子育て支援事業計画」(仮称)を策定します(計画期間:2025年度~2029年度)。

そこで、市民の皆様へ、子育て支援に関するご意見などをお聞かせいただきたく、アンケート調査を実施することに致しました。

本調査は、小学生のお子さんがいらっしゃる世帯に実施するもので、世帯主様にお送りしておりますが、ご回答につきましては、できる限りお子さんの保護者の方がご記入くださるようお願いいたします。なお、調査結果は、統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありません。

子育て支援に取り組むための重要な調査ですので、何卒ご協力をお願い申し上げます。

2023年●月

野洲市

## ご記入にあたってのお願い

- アンケートは、できる限りお子さんの保護者の方がご記入ください。保護者以外の方が記入する際は、保護者と相談してご記入いただきますよう、ご協力をお願いします。
- この調査は無記名です。(調査票にお名前を書いていただく必要はありません。)
- 調査票への回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。また、「その他」の場合は( )内に具体的な内容をご記入ください。
- 数字で時間(時刻)を記入する場合は、24時間制(例:午後6時→18時)でご記入ください。
- 設問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、「ことわり書き」や「矢印」に従ってご回答ください。特に「ことわり書き」などが無い場合は次の設問にお進みください。
- 調査票はご記入後、そのまま返信用の封筒に入れ、無記名で市役所こども課までご返送ください。なお、切手は不要です。
- WEBから回答いただくこともできます。右の二次元コードを読み取り、ご回答ください。この場合は、調査票の返送は不要です。

二次元コード

提出期限:●月●日(●)まで

◎本調査への質問または不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

野洲市健康福祉部こども課 電話:077-587-6052

担当者:村上

**本調査から計画策定までのイメージ**

**アンケート調査（本調査）**

調査項目

①保護者の皆様の子育ての現状

②公共サービスの利用状況

③ニーズと市に求める対応

**第1期子ども子育て支援事業計画等の評価**

満たされたもの

満たされていないもの

**野洲市子育て支援会議**

**第2期野洲市子ども・子育て支援事業計画**

# 1. お子さんご家族の状況について

問1 封筒のあて名のお子さんご家族等の状況をお答え下さい。

(1)お子さんの生年月	※数字でご記入ください。数字は一枠に一字 西暦 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 年 <input type="text"/> <input type="text"/> 月生まれ
(2)あて名のお子さんを含めた お子さんの人数(1つに○)	1. 1人                      3. 3人                      5. 5人 2. 2人                      4. 4人                      6. 6人以上
(3)末子の生年月 ※2人以上のお子さんが いらっしゃる場合	※数字でご記入ください。数字は一枠に一字 西暦 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 年 <input type="text"/> <input type="text"/> 月生まれ
(4)この調査票にご回答 いただく方(1つに○)	※あて名のお子さんからみた関係でお答えください。 1. 母親                      2. 父親                      3. その他(                      )
(5)あて名のお子さんの保護者 (1つに○)	1. 両親                      2. 父親のみ                      3. 母親のみ                      4. その他(                      )
(6)お子さんの子育て(教育を 含む)を主にしている方 (1つに○)	※あて名のお子さんからみた関係でお答えください。 1. 父母ともに                      4. 主に祖父母 2. 主に母親                      5. その他(                      ) 3. 主に父親
(7)お住まいの小学校区 (1つに○)	1. 野洲                      4. 篠原 2. 三上                      5. 北野 3. 祇王                      6. 中主



## 2. 保護者の就労状況について

問2 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況についてうかがいます。

### 用語の説明

※フルタイムとは：1週5日程度・1日8時間程度の就労  
(正規雇用や非正規雇用などの雇用の状況や、日中・夜間などの働いている時間帯は問いません。)

問2-1 母親【父子家庭の場合は記載不要】(1つに○)

1. 就労している(フルタイムで、産休・育休・介護休業中ではない)
2. 就労している(フルタイムで、産休・育休・介護休業中)
3. 就労している(フルタイム以外で、産休・育休・介護休業中ではない)
4. 就労している(フルタイム以外で、産休・育休・介護休業中)
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない

問3へ

問4へ

※自営業、家業、家族従事者、内職の場合は、就労状況の実態に応じてフルタイムもしくはフルタイム以外の選択肢に○をつけてください。

問2-2 父親【母子家庭の場合は記載不要】(1つに○)

1. 就労している(フルタイムで、産休・育休・介護休業中ではない)
2. 就労している(フルタイムで、産休・育休・介護休業中)
3. 就労している(フルタイム以外で、産休・育休・介護休業中ではない)
4. 就労している(フルタイム以外で、産休・育休・介護休業中)
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない

問3へ

問4へ

※自営業、家業、家族従事者、内職の場合は、就労状況の実態に応じてフルタイムもしくはフルタイム以外の選択肢に○をつけてください。

問2-1、問2-2で「3.」「4.」(フルタイム以外の就労)に○をつけた方にうかがいます。

問3 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

問3-1 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. フルタイム以外の就労を続けることを希望
4. フルタイム以外の就労をやめて子育てや家事に専念したい

### 問3-2 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. フルタイム以外の就労を続けることを希望
4. フルタイム以外の就労をやめて子育てや家事に専念したい

問2-1(母親)、問2-2(父親)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。

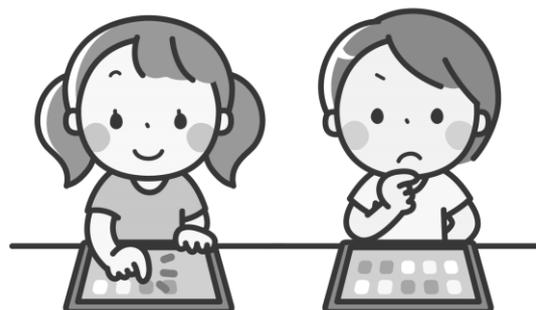
問4 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

### 問4-1 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 将来的に、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい  
→希望する就労形態 (ア.フルタイム  
イ.フルタイム以外)  
→1週当たり□日 1日当たり□□時間

### 問4-2 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 将来的に、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい  
→希望する就労形態 (ア.フルタイム  
イ.フルタイム以外)  
→1週当たり□日 1日当たり□□時間



すべての方にうかがいます。

問5 子どもを育てることと働くことを両立するために必要なことは、どのようなことだと思いますか。  
当てはまる番号に○をつけてください(○は5つまで)

1. 配偶者が家事や育児を分担し、協力すること
2. 配偶者や家族が働くことに同意し、理解すること
3. 「子育ては女性がするもの」という固定的な社会通念を変えること
4. 多様な保育事業を充実すること
5. 子育てしている者に配慮した勤務時間制度などがあり、それが実際に活用できる職場環境
6. 配偶者が子育てに参加できるような勤務時間制度などを実際に活用できる職場環境
7. 出産、育児のため退職した人が職場に復帰できる再雇用制度が事業所に整備されること
8. 育児期間中は自宅で仕事ができるなど、柔軟な働き方の制度が事業所に整備されること
9. 再就職のための職業訓練、就業・起業相談など女性への就業支援
10. 事業所内に保育施設が整備されること
11. 出産と退職を結びつけるような事業所の慣行をなくすこと
12. その他( )
13. わからない
14. 子どもを育てることと働くことを両立する必要はない



### 3. お子さんの病気の際の対応について

問6 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校へ行けなかったことはありますか。

(1つに○)

1. あった	2. なかった	→	問7へ
--------	---------	---	-----

問6で「1. あった」に○をつけた方にかがいます。

問6-1 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで学校をお休みした場合に、行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

この1年間の対処方法	日数/年間
1. 父親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 母親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
3. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
5. 病児・病後児の保育を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
6. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
8. その他( )	<input type="text"/> <input type="text"/> 日

問6-1で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にかがいます。

問6-2 休んだ日数のうち、何日くらい「病児・病後児のための保育施設等を利用できればよかった」と思った日がありましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. 病児・病後児保育施設等を利用できればよかった	⇒	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 利用したいとは思わなかった		

## 4. お子さんの一時預かり事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問7 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、この1年間のおおよその利用日数も口内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

この1年間で利用している事業	日数/年間
1. ベビーシッター (保護者等の委託を受けて、居宅への訪問保育サービスを行う事業)	□ □ 日
2. ファミリー・サポート・センター (会員登録した地域住民同士の相互援助により一時的に子どもを預かる事業)	□ □ 日
3. 夜間養護等事業:トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	□ □ 日
4. その他( )	□ □ 日
5. 利用していない	

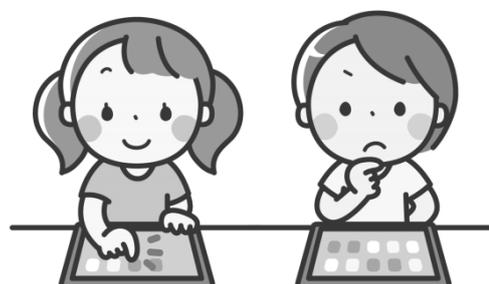
問8 あて名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

(1)利用したい	合計 □ □ 日
1. 冠婚葬祭	□ □ 日
2. 保護者や家族の育児疲れ・不安	□ □ 日
3. 保護者や家族の病気	□ □ 日
4. その他( )	□ □ 日
(2) 利用する必要はない	

問9 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も口内に数字でご記入ください。

	この1年間の対処法	泊数/年間
(1)あった	1. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	2. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	3. 2.以外の事業(ベビーシッター等)を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	4. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	6. その他( )	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
(2) なかった		



## 5. お子さんの放課後の過ごし方について

問10 あて名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

※下に就学前のお子さんがいらっしゃる場合は、幼児教育・保育の無償化(最終ページ参照)についても考慮に入れてご回答ください。

- |                                 |                       |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1. 自宅                           | 5. 学童保育所 ⇒ 問11へ       |
| 2. 屋外(友だち等と遊ぶ)                  | 6. ファミリー・サポート・センター    |
| 3. 祖父母宅や友人・知人宅                  | 7. その他                |
| 4. 習い事<br>(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) | (コミュニティセンター、図書館、公園など) |

問10で「5.学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。それ以外の方は問12へお進みください。

問11「学童保育所」の利用希望をうかがいます。「ア. 通年保育(1)(2)」、「イ. 季節保育」それぞれについて、当てはまるもの1つに○をつけ、利用ができるとしたら利用したい時間も□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

用語の説明

「学童保育所」:こどもの家、放課後児童クラブとも呼ばれます。共働き家庭などの事情により昼間ご両親が不在の小学生のお子さんに対し、放課後に適切な遊びと生活の場を提供します。  
(※野洲市においては、現在は日曜・祝日は開所していません)

「通年保育」:学童保育所へ、年間を通じてお子さんを入所させる利用形態。  
「季節保育」:学童保育所へ、学校長期休業中(4月春休み・夏休み・冬休み・3月春休み)のみお子さんを入所させる利用形態。  
(※野洲市においては、年度途中に通年保育と季節保育相互への変更はできません)

ア. 通年保育

※□内は(例)08時から20時のように24時間制で記入

(1)月曜～土曜日の利用について

1. 小学校1年生の間は利用したい	}	→利用したい時間帯(月曜～金曜)
2. 小学校2年生まで利用したい		放課後から □ □ 時まで
3. 小学校3年生まで利用したい		
4. 小学校4年生まで利用したい		→利用したい時間帯(土曜)
5. 小学校5年生まで利用したい		□ □ 時から □ □ 時まで
6. 小学校6年生まで利用したい		

(2)日曜・祝日の利用について

(日曜・祝日が開所された場合)

1. 小学校1年生の間は利用したい	}	→利用したい時間帯
2. 小学校2年生まで利用したい		□ □ 時から □ □ 時まで
3. 小学校3年生まで利用したい		
4. 小学校4年生まで利用したい		
5. 小学校5年生まで利用したい		
6. 小学校6年生まで利用したい		
7. 利用する必要はない		

## イ. 季節保育

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小学校1年生の間は利用したい</li> <li>2. 小学校2年生まで利用したい</li> <li>3. 小学校3年生まで利用したい</li> <li>4. 小学校4年生まで利用したい</li> <li>5. 小学校5年生まで利用したい</li> <li>6. 小学校6年生まで利用したい</li> <li>7. 利用する必要はない</li> </ol>	→利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
---	--

## 6. 子育て環境について

問12 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(当てはまるものすべてに○)

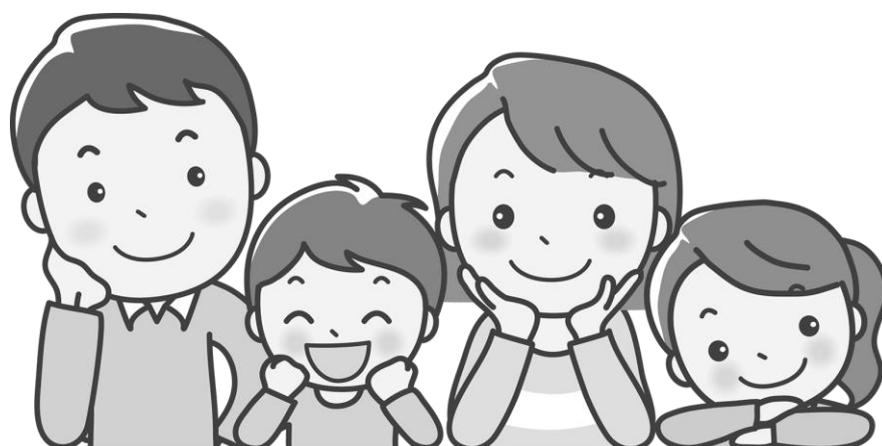
1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問13 下記の事業等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。あて名のお子さんに限らず、ご家庭のすべてのお子さんに関してお答えください。(①～⑧の各事業等について、A～Cそれぞれに○は一つずつ)

事業等	A 知っている	B 利用(参加)したことがある	C 今後利用(参加)したい
① 子育て支援コンシェルジュ(利用者支援事業) (子育て支援センターで、地域の子育て支援情報の提供や相談・助言等を行っている事業です。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
② 妊婦健康診査 (妊娠の経過や赤ちゃんの発育状況を確認するための健診です。野洲市健康福祉センターで母子健康手帳と同時に助成券を交付しています。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
③ 子育て支援センターの育児相談・子育て支援講座	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
④ 保育園、こども園、幼稚園や小学校などで実施される家庭教育に関する講演会やセミナー	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑤ 図書館のえほん・おはなしの会	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ

事業等	A 知っている	B 利用(参加)したことがある	C 今後利用(参加)したい
⑥ コミュニティセンターの活動・教室 (各学区のコミュニティセンターにおいて、様々な体験活動や年齢層の方との交流活動などを行う事業です。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑦ 保育園、こども園、幼稚園の園庭開放 (市内の保育園・こども園・幼稚園では、未就園のお子さんと保護者が屋外遊びを体験できるように、園庭を開放しています。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑧ 学校施設の開放 (子どもをはじめ市民の心身の健全な発達を図るため、市内小・中学校の運動場や体育館等を登録団体に開放しています。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑨ 子育て支援センターの子育て広場 (未就園児を対象に、親子で自由に遊べる場所を提供する事業です。市では3つの子育て支援センターで実施しています。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑩ スクールガードリーダーや警察を交えた防犯教室 (保育園、こども園、幼稚園や小学校において、子どもの防犯意識の向上や被害防止対策などを図る教室です。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑪ 子どもSOSホーム (子どもが外で危険な目にあつた時に助けを求めることができる家として、行政・学校園(所)・保護者・地域とで連携協力して設置しているものです。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑫ 保育園、こども園、幼稚園や小学校での環境活動 (園や学校、PTA等で行う廃品回収やリサイクル活動の他、環境に関する学習会などを行う活動です。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑬ 野洲市ふれあい教育相談センター (不登校やいじめなどの問題を抱えている児童生徒やその保護者に対してカウンセラーによる電話相談や面接相談を行ったり、学校に行きにくい、行けない小中学生のために教室を設けたり、就学前の子どもやその保護者に対して、ことばについての指導や相談を行っている市の施設です。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑭ 野洲市家庭児童相談室 (18歳未満の子どもに関する相談や、児童虐待、DVに関する相談などをお受けしています。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑮ 野洲市発達支援センター (乳幼児期から成人期までの心身の発達に支援を必要とする人に対し、その発達状況に応じ、専門的な相談や療育等を行う市の施設です。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ

問13-1 問13の事業について、ご意見や他にも取り組んで欲しい事業があれば、下欄にご記入下さい。

問14 子育てに関して、日頃悩んでいること、また不安や負担、気になることはどのようなことですか。  
(当てはまるものすべてに○)

1. 子どもの育て方、接し方がわからない
2. 家族の協力が得られない
3. 仕事と子育ての両立が難しい
4. 出産・育児にお金がかかりすぎる
5. 不安や悩みを相談する相手がいない
6. 子育ての大変さを、周囲の人にわかってもらえない
7. 子育て支援の施設が十分でない
8. 子どもにとって、安全な遊び場が少ない
9. 子どもが病気の時、預かってくれるところがない
10. 子どもを通じてのつきあいがわずらわしい
11. 子育ての仲間がいない
12. 子育てによる心身の疲れを感じる
13. 子どもが思うようにならないとき、イライラする
14. 子育てに追われ、社会から孤立しているように感じる
15. 同じ年齢の子どもと比較すると発育・発達状況が心配
16. 自分の時間が取れず、自由がない
17. 子どもとの時間が十分にとれない
18. 子どもが集団生活や授業になじめない
19. 特にない
20. その他( )

問15 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

1. とてもゆとりがある
2. ややゆとりがある
3. ふつう
4. やや苦しい
5. とても苦しい

問16 子育てに関する悩みをどのような人・機関に相談していますか。(当てはまるものすべてに○)

- |                     |                              |
|---------------------|------------------------------|
| 1. 配偶者              | 9. 民生委員・児童委員                 |
| 2. 祖父母等の親族          | 10. 医療機関・かかりつけ医              |
| 3. 友人(子育て中の仲間など)や知人 | 11. 市の各機関<br>(市役所、健康福祉センター等) |
| 4. 近所の人             | 12. その他( )                   |
| 5. 子育て支援センター        | 13. 相談すべきことはない               |
| 6. 保育園              | 14. 相談すべき人がいない               |
| 7. 幼稚園              |                              |
| 8. 小学校              |                              |

問17 子育てに関する情報の入手先としてよく利用するものはどれですか。

(当てはまるものすべてに○)

- 1. 広報やす
- 2. 市ホームページ
- 3. 野洲市子育てガイドブック
- 4. 子育て支援センターが発行する情報誌(「にこにこだより」など)
- 5. 幼稚園(こども園の幼稚園部含む)、保育園(こども園の保育園部含む)、小学校などからの情報(おたよりやメール配信など)
- 6. 新聞、テレビ、ラジオ
- 7. 子育て雑誌、育児書
- 8. 市ホームページ以外の子育て関連のホームページ
- 9. 子育てサークル・子育て支援サークル
- 10. コミュニティ情報誌(フリーペーパー等)
- 11. その他( )
- 12. 情報の入手先がない/わからない

問18 野洲市は、子育てをしやすいまちだと思いますか。(1つに○)

- 6. そう思う } 問18へ
- 7. どちらかというと思う
- 8. どちらかというと思わない } 問19へ
- 9. そうは思わない
- 10. わからない



問18で、「1.」「2.」に○をされた方にかがいます。

問19 野洲市のどのようなところが、子育てをしやすいと感じますか。(当てはまるものすべてに○)

1. 広報誌やホームページの子育て情報の内容がいい
2. 子育て支援センターが充実している
3. 子育てボランティアが助けてくれる
4. 就学前児童への保育が充実している
5. 体調の悪い子どもを預けられる施設がある
6. 障がいのある子どもとその家庭への支援が充実している
7. 子育ての悩みを相談できる機関がある
8. 不登校やいじめについて相談できる機関がある
9. 学童保育が充実している
10. 育児休業制度や再雇用制度などにより、育児をしながら働きやすい環境である
11. 医療費助成制度が充実している
12. 遊び場が充実している
13. 子どもの安全への十分な配慮がある
14. その他( )

問18で、「3.」「4.」に○をされた方にかがいます。

問20 野洲市のどのようなところが、子育てをしにくいと感じますか。(当てはまるものすべてに○)

1. 子育て情報が少ない
2. 子育て支援センターが充実していない
3. 子育てボランティアなど、子育てを支援してくれる人がいない
4. 就学前児童への保育が充実していない
5. 幼稚園・保育園(所)が預かってくれる時間が短い
6. 体調の悪い子どもを預けられる施設がない
7. 障がいのある子どもとその家庭への支援が充実していない
8. 子育ての悩みを相談できる機関がない
9. 不登校やいじめについて相談できる機関がない
10. 学童保育が充実していない
11. 育児をしながら働ける環境ではない
12. 医療費助成制度が充実していない
13. 遊び場が充実していない
14. 子どもの安全への十分な配慮がない
15. その他( )



